

## 茨城新聞社プレスセンターと植物園見学

12月26日、「茨城新聞社プレスセンターと植物園見学」には、29人の子どもたちが参加しました。プレスセンターでは、新聞ができていくまでの説明を受けた後、実際に印刷機や巨大な紙を目にし、その迫力に圧倒されました。また、資料館で昔の印刷の仕方の説明を受けると、あまりの大きさに感心していました。その後、植物園に移動し、木の実や枝を用いての工作では、それぞれが時間を忘れて思い思いの作品を作り上げていました。

板橋小4年 枝川 瑞希

プレスセンターでは、倉庫に大きな紙が百六十個ぐらい入っていると聞いてびっくりしました。すごいと思いました。また、カラーの新聞を作るのに四枚の刷板が必要なんて大変だなと思いました。

植物園では、きのこの展示がいっぱいあってすごかったです。広かったのが全部見るのが大変だったけど、楽しかったです。

福岡小4年 岩本 紘大

最初はプレスセンターに行つて、新聞のことを学習しました。いろいろながことが分かって良かったです。

次に植物園に行つて工作をしました。いい作品ができて良かったです。きのこ博物館でもきのこのことが良く分かりました。今日は楽しかったです。



小絹小4年 高橋 里沙

最初に行つた茨城新聞社プレスセンターで一番びっくりしたことは、昔の新聞は、一文字一文字はこんで作られていたということでした。小さな文字で毎日新聞を作るのは、とても目の良い人がやっていただけのかなと思いました。植物園では木やどんぐりで工作をしました。モグラやリスが食べる実なので、そ末にしないできれいな作品ができる

ように気をつけました。きれいにできて良かったです。とても楽しい一日でした。

板橋小5年 酒井 智春

新聞社プレスセンターを見学したのは初めてでした。ぼくが一番すごいと思ったのは、新聞を作る機械がいろいろあったことです。植物園ではがんばつて良い作品が作れました。友だちも何人かできたので良かったです。



## 野鳥(白鳥)の観察

1月20日に福岡堰で行われた「野鳥(白鳥)の観察」には、25組の親子が参加しました。双眼鏡を片手に、木々や川辺にいる野鳥を熱心に観察しました。先生の説明を聞きながら、30倍の望遠鏡から覗く野鳥は、肉眼からでは決して見ることのできない美しさで、子どもたちもくぎ付けとなりました。また、優雅に泳ぐ白鳥を見ると、寒さも忘れてしまつぐらい熱心に観察していました。



板橋小1年 宋 将浩

コハクチョウが見れてよかったです。さむかったけど、見れてよかったです。

小絹小2年 山田 詩祐

知らないとりをいっぱい見ました。とりのことをすこしずつおしえてもらいました。とりを見るより、自分がとりになつたほうがおもしろそうです。

谷井田小4年 三好 梓

いっぱい鳥がいて良かったです。見られない鳥もいましたが、私が好きな白鳥やチドリがいて良かったと思いました。また、行きたいです。でも、フクロウやタカが見られなくて少し残念でした。

板橋小5年 篠塚 麻菜

今日はいろいろな鳥を見ることができました。中には初めて見る鳥もいました。特にきれいだったのは、「ウソ」です。首のあたりがピンク色になっていました。でも、白鳥が一番きれいでした。一羽だけ子どもの白鳥もいました。また、いろいろな鳥を見てみたいと思います。

谷井田小6年 茂木 貴宏

今日はすごく楽しかったです。しらなかつた鳥も、知っていた鳥もすごく勉強になりました。

